第 20 回 日本免震構造協会賞 － 2019 －

第20回日本免震構造協会賞は、右の7件に決定した。

表彰制度の目的

免震構造等の技術の進歩及び適正な普及発展に貢献した個人、法人及び団体に対して表彰することにより、免震構造等の技術の確実な発展と安全で良質な建築物等の整備に貢献していくことが本協会の表彰制度の目的である。

表彰の対象

功労賞は、多年にわたり免震構造等の適正な普及発展に功績が顕著な個人に、技術賞は、免震建築物等の設計・施工及びこれらに係る装置等に関する技術としての優れた成果を上げた個人、法人及び団体に、作品賞は、免震構造等の特質を反映した格別に優れた建築物等の実現に主たる貢献を行った個人、法人及び団体に、業績賞は、免震構造等の特質を反映した、建築物等の優れた設計、改修、保全、維持、復元、困難なプロジェクトの実現等において際立った業績をあげた個人、法人及び団体に、普及賞は、免震建築物・免震啓発活動・免震に係わる装置等により免震構造等の普及に貢献した個人、法人及び団体に贈る。

表　　彰

2019年6月6日

一般社団法人日本免震構造協会通常総会後

一般社団法人日本免震構造協会表彰委員会委員

彦根　茂(委員長)　井田卓造　江副敏史
下吹越武人　竹内　徹　畠中克弘　東野雅彦
三田　彰

選　考　結　果

第 20 回日本免震構造協会賞受賞は下記の 7 件である。

Ⅰ　技術賞

1) 新たな引抜き対応工法「TOS システム」の開発
株式会社竹中工務店　麻生直木　中根一臣　小倉史崇
オイレス工業株式会社　西野允雅

Ⅱ　作品賞

1) NHK 仙台放送会館
日本放送協会
株式会社山下設計　塩手博道　松澤祐介
株式会社大林組　高橋賢一

2) YKK80 ビル
YKK 不動産株式会社　吉田忠裕
株式会社日建設計　原田公明　田原一徳
鹿島建設株式会社　高橋　亘　兒玉哲志

3) 中之島フェスティバルタワー・ウエスト
株式会社朝日新聞社　宍道　学
株式会社竹中工務店　橘　明宏
株式会社日建設計　吉田　聡
株式会社竹中工務店　佐分利和宏　桑原貴士

4) 新発田市新庁舎
新発田市長　二階堂馨
aat+ ヨコミゾマコト建築設計事務所　ヨコミゾマコト
Arup　竹内篤史　徳渕正毅
大成建設株式会社　河田善裕

Ⅲ　業績賞

1) 小津本館ビル
（1653 年以来の創業の地における免震改修）
株式会社小津商店　中田範三
鹿島建設株式会社　丸山茂生　工藤利昭　松本　航　松元秀憲

2) 関西大学第 4 学舎 1 号館学舎棟
京都工芸繊維大学　満田衛資
株式会社満田衛資構造計画研究所　江畑和弘
株式会社佐藤総合計画　井下仁史
株式会社星田逸郎空間都市研究所　星田逸郎
学校法人関西大学　重田勝紀

（敬称略）

審査経過

本年度の応募は、技術賞4件、作品賞19件、業績賞1件および普及賞1件であった。審査前に、作品賞1件が取り下げられた。第一回表彰委員会で議論した結果、作品賞応募のうち2件を業績賞に相応しいと判断し、各応募者にエントリー変更の打診を行い了承された。

技術賞ではヒアリング前に、一件の取り下げがあり、応募3件のヒアリングを行い委員会での協議により、「新たな引抜き対応工法「TOSシステム」の開発」を選出した。柱の引き抜き力が、免震装置のゴムに伝達されない免震装置の接続機構を開発したものである。さらなる技術革新によるコストダウンが期待される。

作品賞の応募は、建築用途別に、公共2件、企業5件、公共文化1件、教育4件、医療4件。中間層（1階柱頭を含む）免震構造を採用したものが4件、基礎免震構造を採用したものが9件、制振構造を採用したものが3件あった。いずれの作品も構造計画に工夫が見られ、建築としての意匠、構造、設備、環境配慮の総合設計に優れた作品が多く見られた。応募作品が増加したため、1次審査の書類審査を行い通過した10作品について、2次審査の現地審査を行った。現地審査を経て、第2回表彰委員会で厳正に審査した。作品ごとに関係者をのぞく審査委員が審査を行い、評価得点数が過半を獲得した応募作品3件を選出した。中でも、基礎免震と剛性の高い耐震格子パネルを外壁に配し、非常時こそ機能を期待されるアンテナ塔の変位を制御した作品は、総合的に高評価を得た。また、地方の公共建物で地域の活性化に効果的な建築空間を免震構造によって可能とした作品も高評価であった。再審査において、建築としての総合力を評価して1件を選出した。

業績賞のうち1件は、ヒアリング、2件は、現地審査を行い、厳正に審査した結果、レトロフィットを行った2件を選出した。それぞれ、建築的な目的は異なるものの、一件は地道な行政との協議を経て伝統のある文化発祥の建物を居ながら免震化、もう一件は、有名建築に最小限の手を加え、隣接新築建物と繋げることで、耐震化を図ったものである。さらなるレトロフィットの実現に貢献するものと審査委員の高評価を得た。

普及書に該当する作品は、なかった。

（彦根　茂）